



<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和元年度決算	令和2年度決算	増減率
歳入	21,626,091	28,903,797	33.7
歳出	20,654,523	27,529,536	33.3
形式収支	971,568	1,374,261	-
実質収支	783,803	1,255,768	-
単年度収支	△ 115,410	471,965	-
実質単年度収支	△ 217,126	140,127	-

②主な歳入・歳出(令和2年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	28,904	-	7,278	33.7
地方税	7,866	27.2	181	2.4
地方交付税	4,313	14.9	172	4.2
国庫支出金	9,377	32.4	6,473	222.9
地方債	1,188	4.1	△ 605	△ 33.7
うち臨財債	716	2.5	51	7.7
その他	6,160	21.4	1,057	20.7
うち繰入金	402	1.4	17	4.4
<b>歳出</b>	27,530	-	6,875	33.3
義務的経費	10,638	38.6	528	5.2
人件費	3,730	13.5	342	10.1
扶助費	4,636	16.8	92	2.0
公債費	2,272	8.3	94	4.3
投資的経費	2,717	9.9	△ 26	△ 0.9
普通建設事業費	2,717	9.9	△ 26	△ 0.9
うち補助	1,637	5.9	677	70.5
うち単独	1,025	3.7	△ 673	△ 39.6
その他の経費	14,175	51.5	6,373	81.7
うち繰出金	2,025	7.4	△ 572	△ 22.0

③主要指標(令和2年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.89)
連結実質赤字比率	- % (17.89)
実質公債費比率	6.8 % (25.0) [6.5]
将来負担比率	92.5 % (350.0) [39.4]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和3年度)	0.646	[0.689]
経常収支比率	89.9 %	[90.8]
標準財政規模(令和3年度)	14,288 百万円	[16,396]
地方債現在高(A)	31,524 百万円	[26,220]
債務負担行為支出予定額(B)	924 百万円	[5,525]
積立金現在高(C)	3,752 百万円	[6,430]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	28,696 百万円	[25,315]

※1 ( )は早期健全化基準、[ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和2年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,611,483 ( 31.8 )	2,503,072 ( 31.8 )	95.8 [97.0]
市町村民税・法人 (構成比)	600,717 ( 7.3 )	591,677 ( 7.5 )	98.5 [97.7]
固定資産税 (構成比)	4,050,586 ( 49.4 )	3,867,200 ( 49.2 )	95.5 [96.6]
市町村税合計 (国保除く)	8,206,131	7,866,105	95.9 [96.9]

<公共施設整備状況>(令和2年度) ※1は令和3年度

小学校 ※1	13 校	体育館	2 か所
中学校 ※1	4 校	プール	1 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	2 園	老人福祉施設	30 か所
保育所 ※1	2 か所	病院・一般診療所	27 か所
認定こども園 ※1	7 園	道路改良率	23.7 %
図書館	2 か所	道路舗装率	54.2 %
公営住宅	178 戸	上水道等普及率	87.8 %
公民館等	5 か所	汚水処理普及率	74.5 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
新生児応援給付金事業	R4	従来の出産奨励金支給事業(第3子以降50万円)を見直し、第1子目の児童から新生児応援給付金(新生児1人につき5万円)を支給する。	13
坂東清風高等学校魅力活力応援事業	R4	市内高校の生徒に対し、授業関連の資格等取得のための受験料等の補助を行い、進学・就職に向けたキャリア形成を支援する。	1
子育て世代定住促進奨励事業	R4	本市に転入し、定住する意思をもって住宅を取得した子育て世代等に対し、住宅取得および新生活に係る応援金として最大30万円を支給する。	12
企業立地推進事業	R4	工業団地の整備および企業誘致を推進し、安定した雇用の創出や財政基盤の強化、市の産業振興を図る。	188
地域利便施設整備事業	R4	休憩機能・地域の連携機能・情報発信機能・防災機能を兼ね備えた地域利便施設について、(仮称)坂東パーキングエリアとの一体的な整備を目指す。	97

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化対策</li> <li>・企業誘致の推進</li> <li>・防災基盤の強化</li> <li>・行政のスリム化</li> <li>・中心市街地の活性化</li> <li>・市民協働のまちづくり</li> </ul>	
<特色ある行政>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊症、不育症治療費への助成事業</li> <li>・新生児応援給付金の支給</li> <li>・幼保連携型認定こども園の運営</li> <li>・多子世帯の給食費軽減</li> <li>・子育て世代に対する転入支援</li> <li>・市内高校の生徒に対する資格等取得のための受験料等の補助</li> <li>・高齢者、障がい者、運転免許返納者に対する公共交通利用料金の助成</li> </ul>	